



今回は、霊長類学一日野外実習について報告します。

◇ 日本モンキーセンターで霊長類学一日野外実習を受講しました！

日 時： 令和元年8月10日(土) 場 所： 日本モンキーセンター
参 加： 自然科学部霊長類研究班、及び希望者

◇ 当日のようす

午前中は、森やサバンナに棲む様々なサル類の行動観察を通じ、生活空間や環境適応との関わりについて考えました。午後からは、絶滅危惧種のスローロリスの保護問題について学び、午前中に観察したサル類の保全問題について、グループ形式で話し合いました。

◇ 生徒の感想より

■今日は、たくさん驚きました。特に、スケッチに驚きました。中学までの理科では「はっきり」「1本で」できる限り「似る」ように書いていて、今でもそうだったけれどシートには骨組みだけの図(関節も)が例として書いてあり、「なるほど、こうした方が特徴はつかみやすいのか」と驚きました。もしゴリラをスケッチする機会があればこの技を使いたいと思っています。今日は大変暑い中僕らのためにガイドをしていただき、ありがとうございました。

■今日の実習について、まず午前では様々な霊長類の特徴などを自分の目で見て知ることができてよかったです。午後では全ての霊長類がレッドリストに登録されていることを知り、その原因や自分たちにできること等を考えるきっかけとなりました。今後の部活動でこれらのことを考えていく際に今日学んだことを参考にして行っていきます。

■今回の研修の内容は去年とまた違った構成でおもしろいと感じました。施設内でのサルたちの環境や抱える問題を調べ、出来ることを考えるのは霊長類学というよりは道徳や社会系のように一般の人に話す時に使えるなと思いました。

ボルネオのオラウータンの話は英語の教科書で読むので、ある程度知っていましたが、マダガスカルワオキツネザルの焼かれた森の様子は衝撃的でした。私の今までのイメージではマダガスカルは保護されていて鬱蒼とした森が一面に広がっているイメージでした。私の勉強不足かもしれませんが、マダガスカルは自然でいっぱいだというイメージを持つ人は私以外にもいると思います。そんな人に伝えていくような活動がこれからの保全活動や文化祭の時に出来たらいいなと思いました。また、自由時間は3人でよくリスザルの所に行きました。リスザルの虫の捕食シーンも間近で見えてなかなか良かったです。個人的には去年観察したオメガの姿が見えなかったのが心配でした。

■今日のセミナー・霊長類行動観察の実習を通して、たくさんのことを考え、知識を広げること





ができました。まず、多様なサルの観察を行い、それぞれの体のつくりと動きの関係性について考えました。フクロテナガザルなどの腕の長いサルは、腕渡りやぶら下がりを頻繁に行い、ジェフロイクモザルなどの手足と尻尾が長いサルは、尻尾を器用に活用して、ぶら下がっていました。移動方法と食物、生息環境に繋がりがあって、面白かったです。また、モンキーセンターの設備がサルの生態を踏まえて作られていることに面白みを感じました。特に、ジェフロイクモザルは、手足あるいは尻尾でなにかを掴む習性があるから、ジャンプして、どこかに行ってしまうことがないということが印象に残っています。

そして、red list のサイトによる調べ学習では、グループの仲間と生物への脅威や保全について調べ、自分たちのできることにについて考えました。楽しんで取り組むことができました。今日の学びをこれからの、霊長類研究に生かしていきたいと思います。ありがとうございました。

■今日の霊長類学一日実習で一番印象に残っていることは、スローロリスの観察です。

まず初めにペットとして飼う、もしくは売るために密輸されているということを知りました。また、密輸されたスローロリスたちの数頭は亡くなってしまうということに衝撃を受けました。本来なら熱帯雨林でのびのびと生きていくはずだったのに人間の勝手な都合で彼らに苦しい思いさせてしまっただけで申し訳ない気持ちになりました。

次に実際にスローロリスたちを観に行きました。やっぱり見るととても可愛くて密輸をしてまで飼いたい気持ちも分からなくなりました。しかし、それよりも『可愛いからこそ守ってあげたい』という思いを強く持ちました。そして、実際自分はカワウソを飼いたいと思っていましたが、彼らもまた密輸されています。カワウソが好きだからこそ「飼いたい」という思いからスローロリスを見た時の思いへ変わることが出来ました。

最後にこの思いを胸に実際生き物たちを守ることに何かしらの形で協力したいと思いました。今日早速行った募金に加えて霊長類班のこれから新たに増える活動のひとつ、「環境問題に関する啓発活動」などを通して少しでも生き物を守る力になりたいと思いました。

■今日の実習で、同じ霊長類でも移動方法や食料、居住環境によって身体的特徴がそれぞれ異なることが分かりました。同じような移動方法の動物で同じような姿勢でも、しっかり観察すると背骨の形や頭の角度などが全然異なっていることを見つけられて面白かったです。また、午後に行った動物のレッドリストを調べて私たちにできることを考える実習では、普段は動物を観察するだけで、絶滅についてなどの観点で考えることがなかったので、そういうことも考えていけるようにしたいと思いました。

■今日の研修では様々な事が分かりました。今日の観察で行った事は、今まで特に意識した事が無かった事なので、興味深かったです。霊長類の中には様々な種類の手足や尻尾を持った生き物がいて、生息域や食べ物や移動方法が違う事が分かりました。また、多くの霊長類が絶滅の危機にある事が分かりました。可愛いという気持ちだけでサルを飼う事は絶対に良くないと思うし、より多くの人にこの問題を知ってもらいたいと思いました。私も身近な所から、環境を考えて生活したいと思いました。色々な事を教えて下さり、ありがとうございました。

■今日の実習を通して、生物の多様性について学ぶことができました。今まではゴリラに集中して観察をしてきたのですが、他のサルにも目をやり、サルの種類による特徴の違いを見たことで、体のつくりと行動との繋がりを知れて、単純にその生態がおもしろいなと感じました。僕にとっては、かなり興味深いものでした。また、観察を体のつくりに着目して行うということ、自分にはしたことが無かったので、これからの観察に活かしていけたらと思いました。

環境保全の学習では、今までに知らなかった知識を得られて、とても良い時間を過ごせました。

特に、サルを今でも食用としてとる人がいるという事実に衝撃を受けました。是非、保全という観点を加えながら研究が進められればと思えました。また、保全とは少し違うけど、エンリッチメントの考え方も非常に興味を持ってました。環境保全もエンリッチメントも他人事と思わず、積極的に関わる事を大切にするべきじゃないかなという、自分の考えが持てました。

今回、実習をさせていただいて、とても身になる経験をする事ができたと思っています。今回の実習から得た知識や経験を活かして、活動していきます。

■この度はありがとうございました。とても有意義な時間でした。

これまでモンキーパークには何回も足を運んで来ましたが、サルの動きや体のつくりの違いや種名看板を意識することもなかったのが驚きの連続でした。食物が違えば、生活する場所が変わる。生活する場所が違えば、移動方法が変わる。移動方法が違えば、使う体の部分が変わる。その連鎖が多様性を生み出したことがよく分かりました。これまで進化については知っていましたが、改めて生き抜くために、子孫を残し繋げていくためにもがいた証なんだと感じました。また、人の生活だけを優先してその種を途絶えさせることは、それを消すことだと分かりました。人がそのようなことをする必要がないように、密接に絡み合った問題を一つずつ解決していくことが大切だと感じました。今回、私の中での野生動物に対する見方が変わりました。このような時間を頂けて本当にありがとうございました。この体験も糧にしていきたいです。

■サルを間近で観察しながらたくさん解説していただけて、とても楽しかったです。

種によって生活環境や食性が違い、それにあった体型をしているのが興味深いです。凄く合理的だなと思います。それにフクロテナガザルが野生の個体では地面を歩いたりしないのに、動物園で飼育されている個体は地面を歩くと聞き、環境が生物に及ぼす影響の大きさを感じました。また、スローロリスの密輸の話はもっとたくさんの人が知るべきだと思いました。わたしは、日本でこんなことが起きていると詳しく知ったのは初めてでした。人間が自分たちの都合で野生動物を好き勝手扱うのは、絶対にあってはならないと思います。

■今回の研修では、霊長類についてたくさんのことを学ぶことができ、とてもいい経験になりました。特にフクロテナガザル、アヌビスヒヒ、クモザル、リスザルの4種類を観察し特徴がよく分かりました。それぞれ、環境に適した体格に進化していったことがよく分かりました。

スローロリスについては、小さく、可愛く、素早くないという利点からペットに密輸されてしまい多くのロリスが死んでしまうということを知り、私はロリスについてほとんど無知だったので知ることができ、良かったです。また、もっと多くの人に知ってもらいたいと思いました。

また、多くの霊長類が絶滅の危機に瀕しており、それらの原因が私たち人間であることがとても残念でした。そのため、私たちは森や、動物達の住処を元に戻す責任があると思いました。そのために出来ることを考え、実行し、広めて行きたいと思いました。



■今日の研修では霊長類について多くの事を学びました。私は動物は好きだけど詳しく観察したことはあまりなかったです。だけど今日、それぞれのサルたちが、住んでいる場所にあった移動の仕方をしていることや、その移動が出来るような体の形をしていることを初めて知ることができました。自由時間で他のいろいろな猿も見て、この子は足が短い、この子は毛がもふもふしている、など友達と話しながら観察することができ、猿についてもっと知りたいと思いました。

また、多くの野生動物の減少が進んでいることについて、まずは私でもできるエコバッグを持ち歩いたり、節水をしたりして、少しでも自然に優しい生活をしていきたいと思いました。